令和8年度
公益社団法人応用物理学会
北陸・信越支部講演会

日時：2026年12月24日（木）13時～16時15分（途中休憩あり）

場所：新潟大学 五十嵐キャンパス
中央図書館 OMNライブラリーホール
新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050
https://www.niigata-u.ac.jp/university/access/ikarashi/
https://www.niigata-u.ac.jp/wp-content/uploads/2026/08/map_ikarashi2026.pdf

講師：瀬川 浩司（東京大学 先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー、有機系太陽電池技術研究組合 理事長、新潟大学 客員教授）

演題：「カーボンニュートラルと太陽光発電 ― 社会課題の解決に向けた技術からのアプローチ」

参加費：無料（以下の問合せ先に12月18日までに御連絡下さい）

講演内容：

脱炭素社会の実現に向けて、世界では再生可能エネルギーの導入拡大が進んでいる。国際エネルギー機関（IEA）の予測によれば、2050年の世界の電力の主力は太陽光発電が担うという見通しが示されており、わが国でも2025年末で7737万kWの太陽光発電設備が導入され、2040年にはその2倍から3倍の設備導入目標が日本政府の第7次エネルギー基本計画に記載されている。しかしながら、このような太陽光発電の導入拡大が進むにつれ、環境破壊や災害のリスク、系統接続の問題や電力価格の上昇など、様々な課題も顕在化している。このような課題に対応するためにはどのような技術が必要とされるのか基礎にさかのぼって講義する。

問合せ先：増田 淳（新潟大学自然科学系情報電子工学系列）
a-masuda@eng.niigata-u.ac.jp